
2009年3月期 第2四半期(中間)決算説明会

石油資源開発株式会社

2008年11月10日

注意事項

本資料に掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、その他歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しを示したものです。実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。

Copyright: 本資料に含まれるすべての内容に関する著作権は、当社が有しています。事前の承諾なく、これらの内容を複製もしくは転載することはお控えください。

※ 本資料において 1H, 2H はそれぞれ上期、下期を、(a) は実績数値を、(e) は予想数値を示しています。

本資料に関するお問い合わせ、その他IRに関するご質問は、以下にお願いいたします。

石油資源開発株式会社 広報IR部 IRグループ 電話03-6268-7111

目次

1. 事業の概況

代表取締役社長 渡辺 修

2. 2009年3月期 - 第2四半期(中間期)実績

専務取締役 佐藤 弘

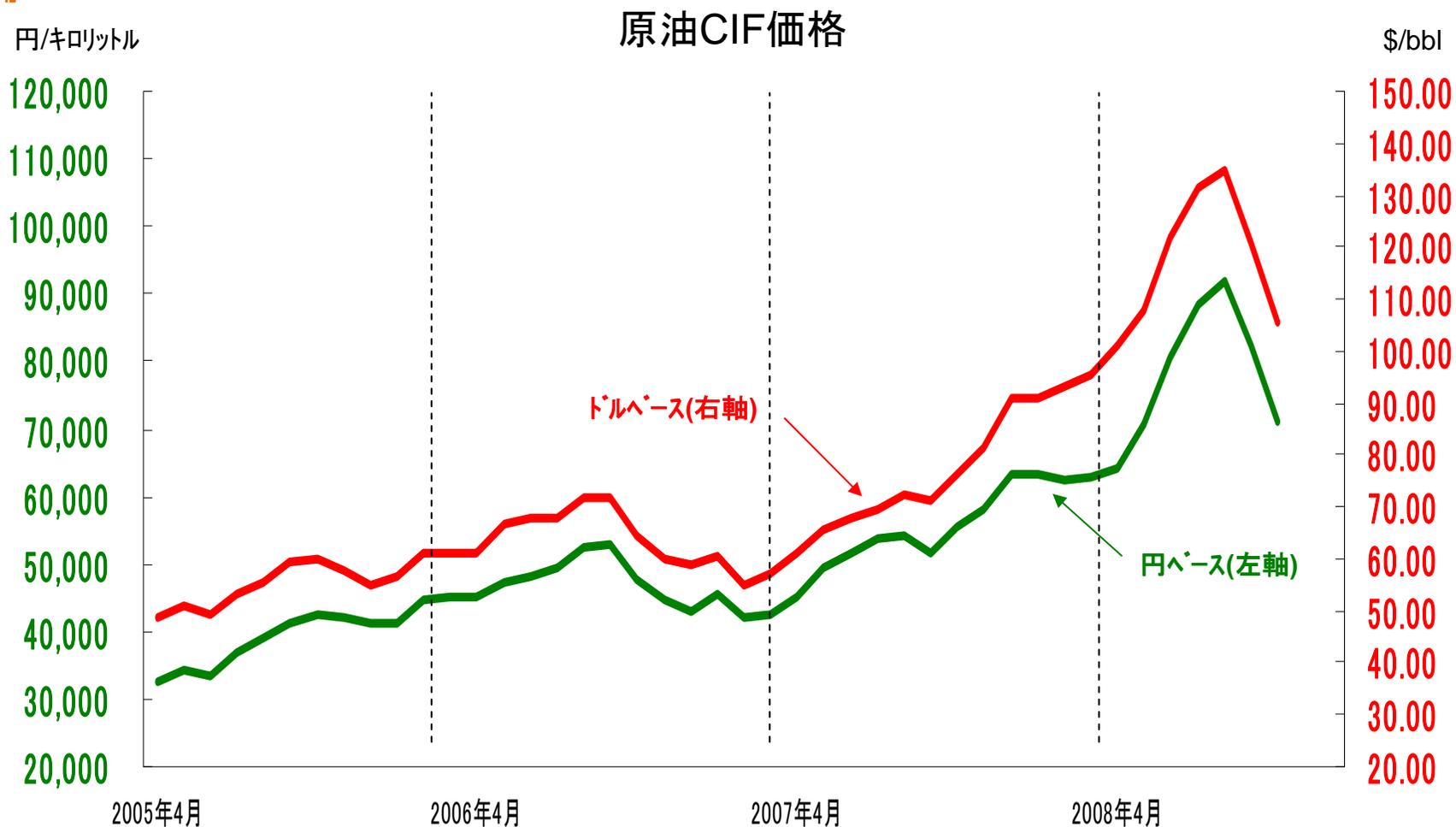
3. 2009年3月期 - 通期業績見直し修正

専務取締役 佐藤 弘

事業の概況

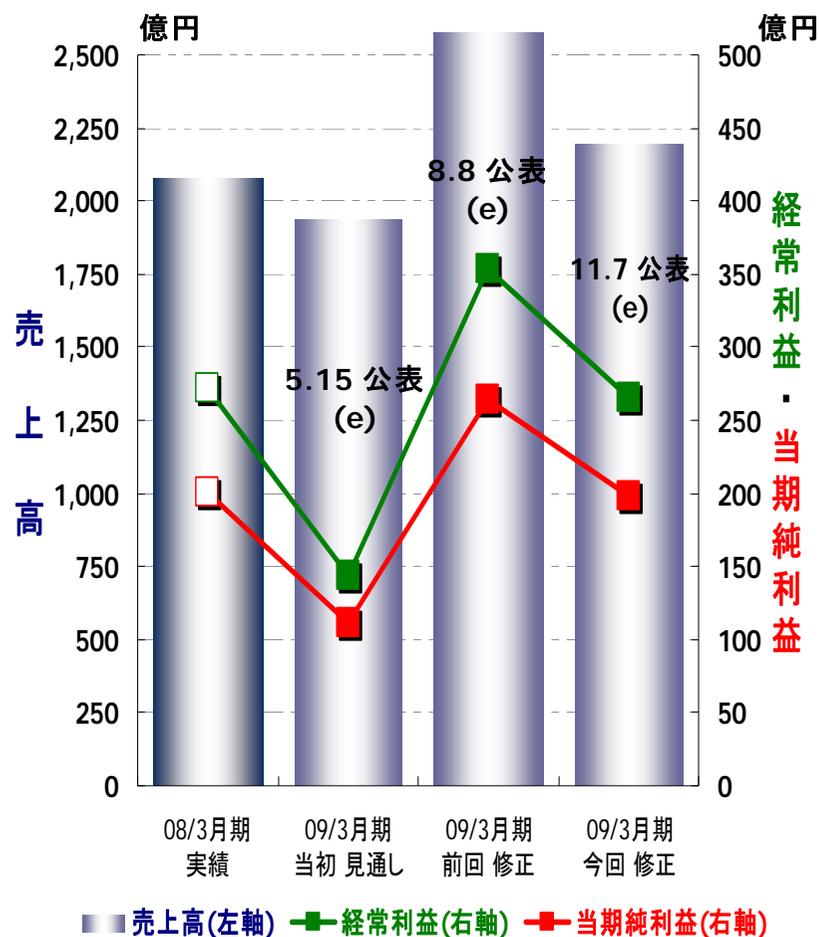
代表取締役社長 渡辺 修

原油価格の動き



➤ 2008年10月上旬分の円建てCIF価格(速報)は、71,140 円/kl (106.94ドル/bbl)

通期業績見通し修正



(百万円)	08/3月期	09/3月期 通期 見通し		
	通期 実績 (a)	当初 見通し 5.15公表(e)	前回 修正 8.8公表(e)	今回 修正 11.7公表(e)
売上高	207,638	193,772	258,054	219,828
営業利益	19,625	8,860	27,339	21,836
経常利益	27,247	14,321	35,352	26,539
当期純利益	20,097	11,141	26,383	19,828
[油価と為替の前提]				
原油CIF価格 (\$/bbl)	76.21	80.00	112.51	88.62
為替 (Yen/\$)	114.66	105.00	104.63	100.69

修正のポイント

原油CIF価格: 前回修正(8.8公表) 3rdQ~4thQ [110 \$/bbl]
 今回修正(11.7公表) 3rdQ [**85 \$/bbl**]、4thQ [**55 \$/bbl**]

為替レート : 前回修正(8.8公表) 3rdQ~4thQ [105 Yen/\$]
 今回修正(11.7公表) 3rdQ~4thQ [**95 Yen/\$**]

上期事業ハイライト

➤ 国内探鉱

- 新潟県聖籠町、胎内市、新潟市の沖合いで、それぞれ各1坑 計3坑の試掘井を掘削
(期間:08年3月~8月)

➤ ガス事業

- 採掘井の掘削作業
 - ・「片貝SK-28D号井」(片貝ガス田) 08年1月~7月
 - ・「岩船沖MS-B16号井」、「岩船沖MS-B17号井」(岩船沖油ガス田) 08年4月~8月
 - ・「沼ノ端SK-8D号井」(勇払油ガス田) 08年5月~
- 北海道、新潟県の油ガス田における生産設備の増強は順調に進捗
- 仙台市ガス事業民営化に対し東京ガス(株)、東北電力(株)と共同で応募提案への対応を検討中

➤ 海外事業

- カナダオイルサンド環境影響調査開始 08年5月~
- リビア(2鉱区) それぞれ各1坑の試掘実施に向け準備中
- インドネシア ブトン鉱区 地震探鉱作業実施中

試探掘井掘削 上期実績及び下期計画

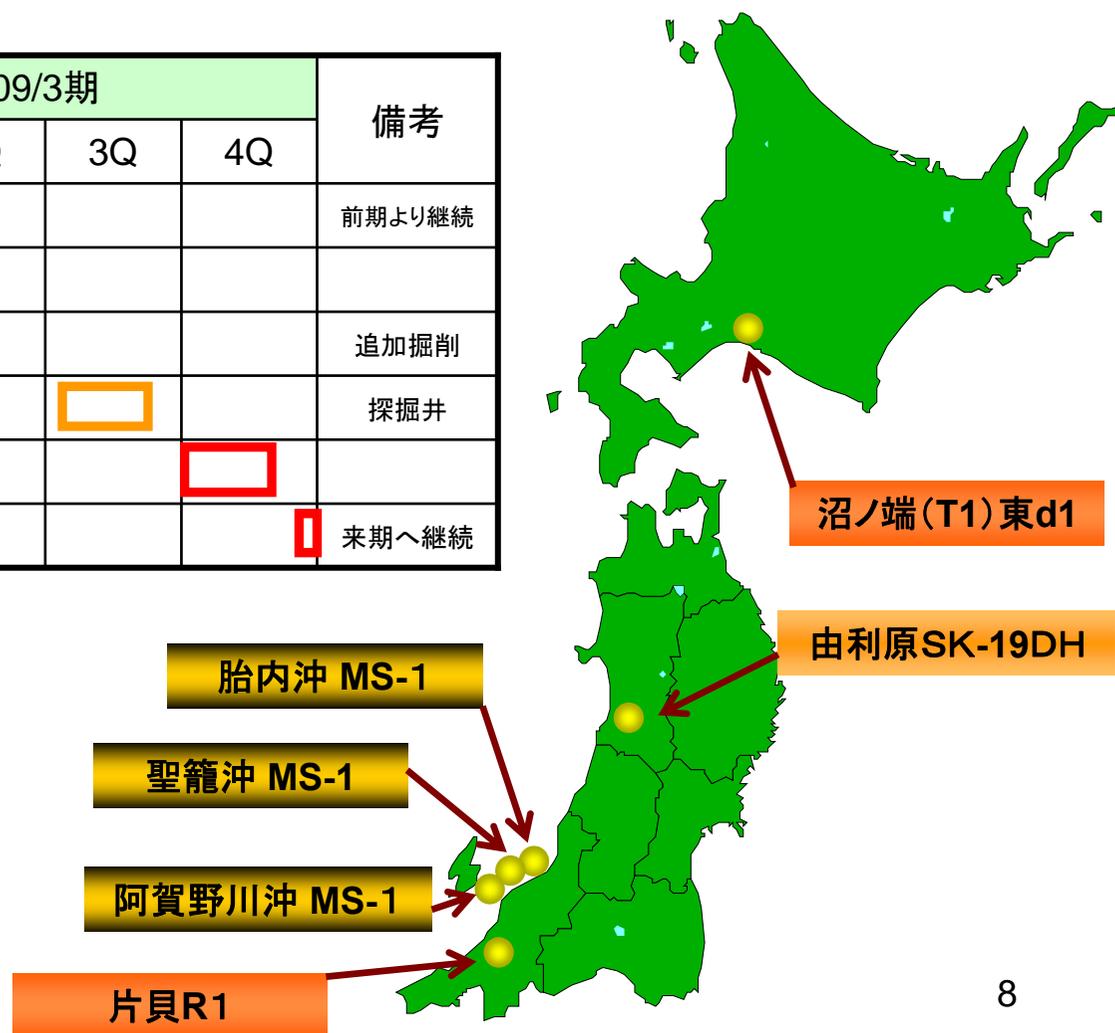
試探掘井 掘削スケジュール

	掘削 深度	09/3期				備考
		1Q	2Q	3Q	4Q	
聖籠沖 MS-1	4,310m	■				前期より継続
胎内沖 MS-1	4,358m	■				
阿賀野川沖MS-1	2,000m		■			追加掘削
由利原SK-19DH	2,800m			□		探掘井
沼ノ端(T1) 東d1	1,525m				□	
片貝 R1	5,200m				□	来期へ継続

- : 実績
- : 作業中
- : 計画

[試掘結果]

- ・聖籠沖MS-1 (4,310m) 廃坑
- ・胎内沖 MS-1 (4,358m) 廃坑
- ・阿賀野川沖MS-1 (2,000m) 廃坑



海外事業：基本方針

基本方針

- 探鉱、開発プロジェクトの適切なポートフォリオ・バランスの構築
- 重点地域： インドネシア等東南アジア、カナダ、中東、北アフリカ、サハリン
- LNG上・中流プロジェクトへの参加

既存プロジェクトの探鉱・開発費に
5年間(08~12)で約1,100億円を投資

注：探鉱義務作業に加え、一定の成功を想定した
評価・開発作業予想額を含みます。



探鉱	(株)ジャペックス リビア (株)ジャペックス ブトン (株)ジャペックス Block A カナダオイルサンド(株) 他	約300億円
開発	Kangean Energy Indonesia Ltd. (株)ジャペックス Block A (株)ジャペックス リビア(成功ケース) 他	約800億円
計		約1,100億円

別途、新規プロジェクトの獲得を目指す。

海外事業：重点地域での取組み

カナダ

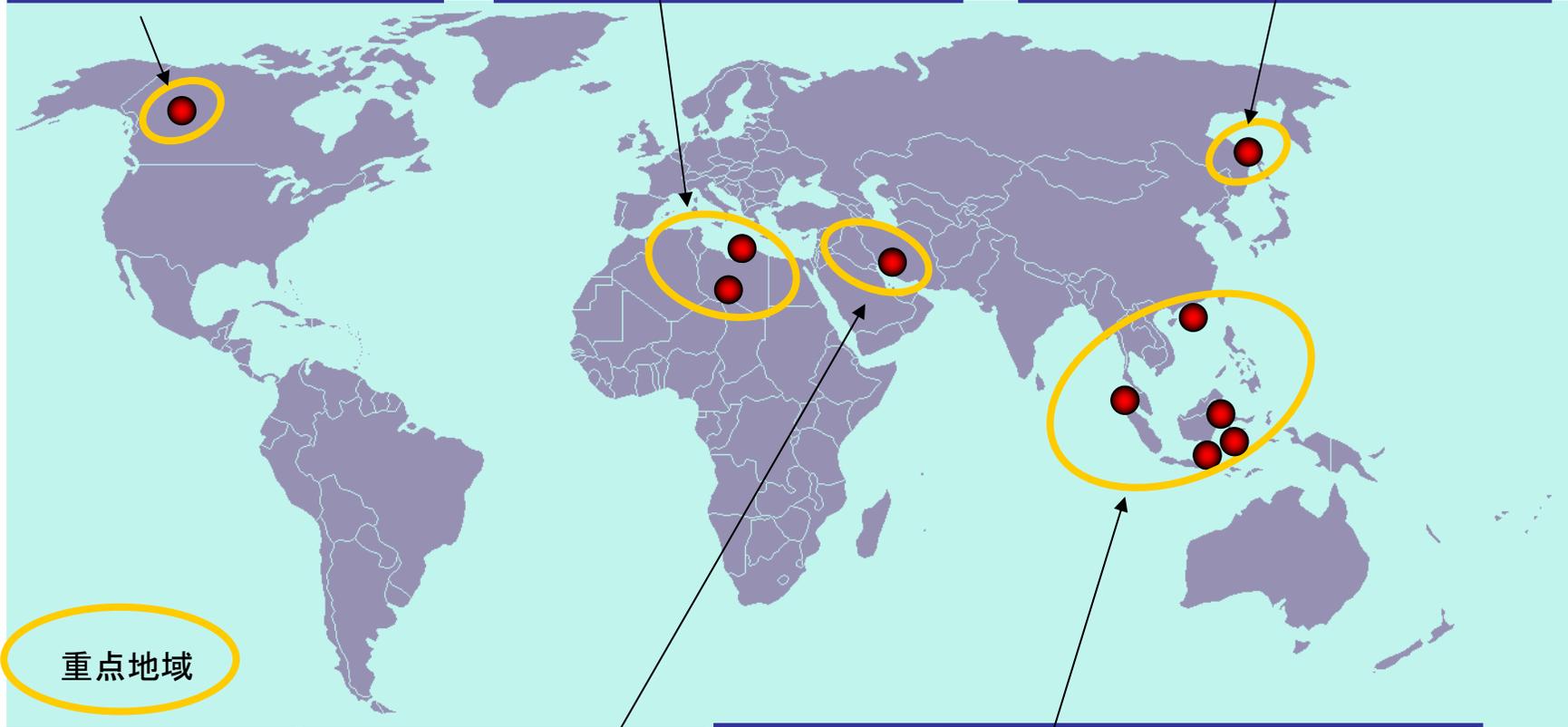
オイルサンド開発
(生産中 & 探鉱(埋蔵量評価))

北アフリカ

リビア2鉱区(探鉱)

サハリン

サハリン1プロジェクト(生産中)



重点地域



連結子会社および持分法関連会社等が権益を保有する鉱区

中東

イラン: JJI S&N (生産中)
イラク: 石油省と技術協力

東南アジア

中国: 新南海石油開発(生産中)
インドネシア: カンゲアン鉱区(生産中 & 開発)、Block A (開発)、
ブトン(探鉱)、ユニバースガスアンドオイル(生産中)

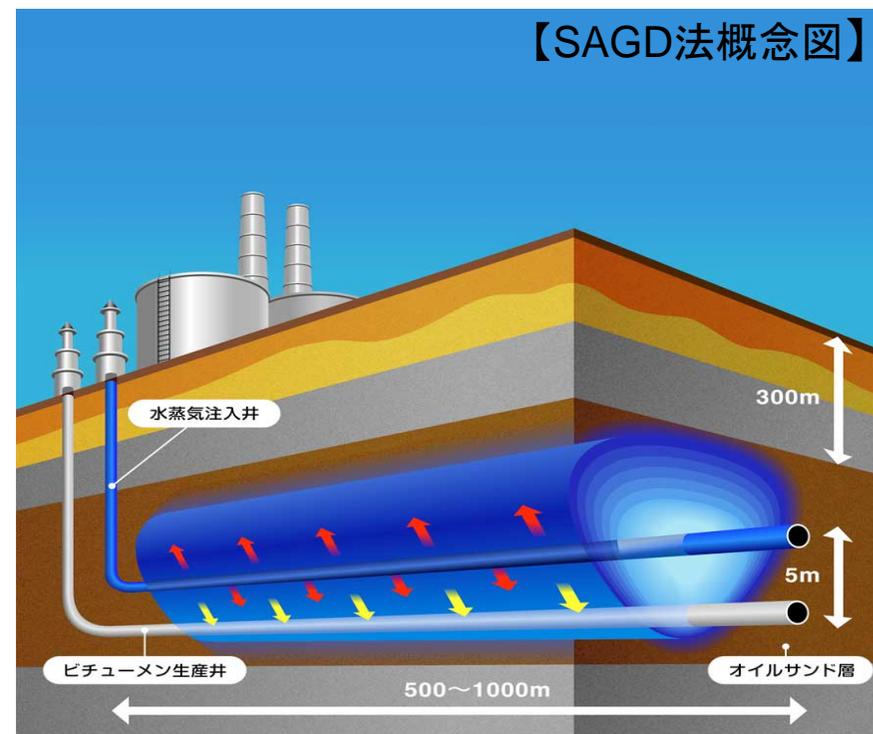
海外事業現況(1) カナダ オイルサンド

- **カナダオイルサンド(株):**
連結子会社(当社86.64%出資)
- **オペレーター:**
100%出資 現地法人
Japan Canada Oil Sands Ltd. (JACOS)
- **生産鉱区: Hangingstone 3.75 セクション**
(権益比率: 100%)
 - 1978年 実験操業開始
 - 1997年 SAGD法による実証生産段階へ
 - 1999年 生産開始
 - 2003年 商業生産へ移行
 - 約 8,000 bbl/d で生産中
 - Hangingstone 鉱区の未開発エリアの地質評価作業を実施中
(2006年末~2009年初)

環境影響調査開始

(将来25~30年間 最大35,000bbl/d の追加生産を期待

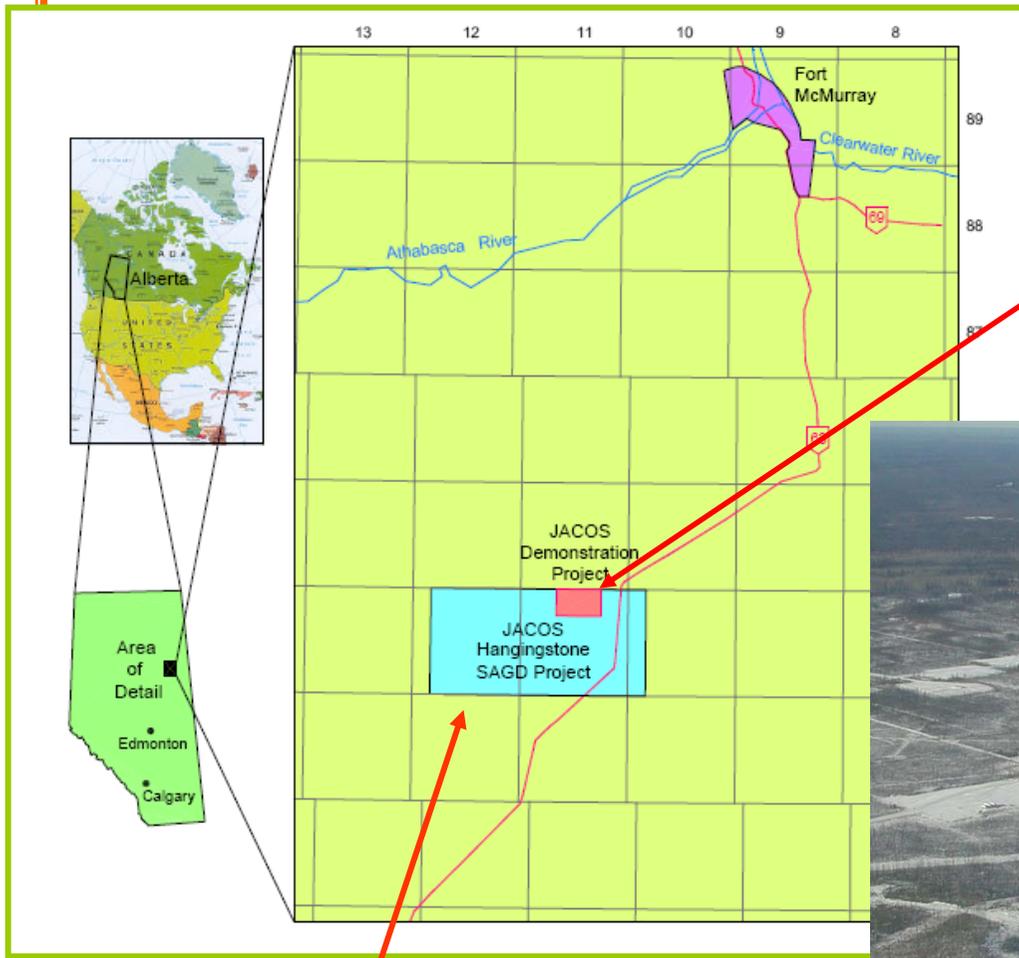
- 2014年生産開始を目標)



<オイルサンド>

- 超重質で高粘性の原油「ビチューメン」が砂と混じったもの
- 通常の原油のように自噴しないため、特殊な回収技術が必要
- ビチューメンを砂と分離して採取、販売

Hangingsone SAGD Project 鉦区位置図



生産中「Hangingsone 3.75 セクション」



Hangingsone 鉦区

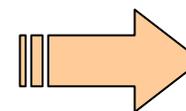
海外事業現況(2) サハリン1 プロジェクト

サハリン1 コンソーシアム

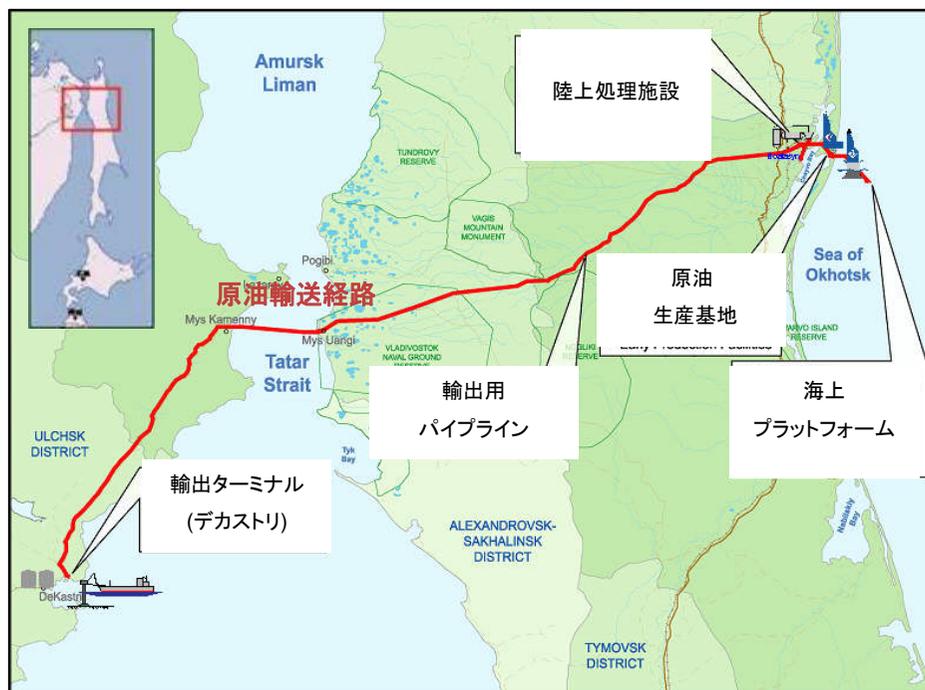
企業名	国名	権益比率	備考
Exxon Neftegas Ltd.	米	30.0%	ExxonMobil社の子会社 オペレーター
サハリン石油ガス開発(株)	日	30.0%	
Sakhalinmorneftegas-Shelf	露	11.5%	サハリン海洋石油ガス社の子会社
RN-Astra	露	8.5%	ロシア国営ロスネフチ社の子会社
ONGC Videsh Ltd.	印	20.0%	インド国営石油ガス公社の子会社

サハリン石油ガス開発(株) (SODECO)

➤ 2008年3月 初配当実施



株主名	持株比率
経済産業大臣	50.00%
石油資源開発(株)	14.46%
伊藤忠商事(株)	14.46%
丸紅(株)	11.68%
その他	9.40%



- 2005年10月 原油生産開始 (ロシア国内向け供給)
- 2006年10月 ソコール(Sokol) 原油として輸出開始
- 2007年2月 目標原油ピーク生産量 (25万bbl/d) 到達

海外事業現況(3) リビア 40-3/4鉱区、176-4鉱区

(株)ジャペックスリビア:

連結子会社(当社100%出資)

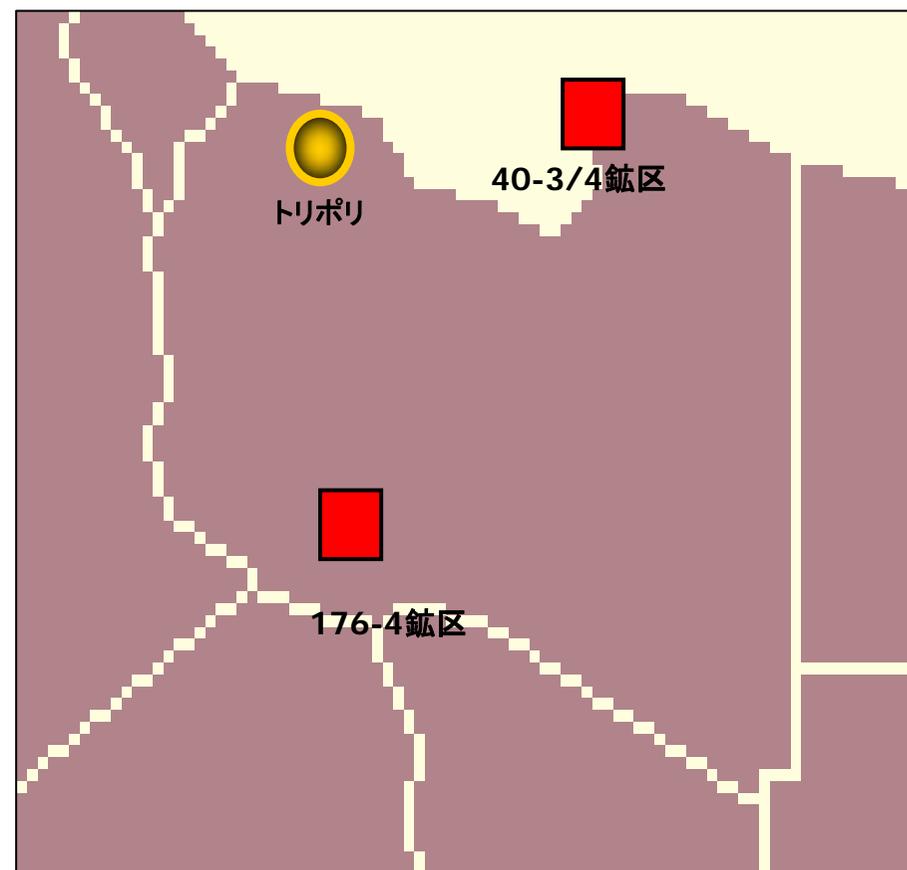
海上 40-3/4 鉱区 (地中海沿岸部)

- 権益比率: 42% (オペレーター)
- 今後の作業計画
 - 2008年: 試掘井1坑(2600m)掘削 **12月中旬開坑予定**
 - 2009年: 試掘井1坑掘削

陸上 176-4 鉱区 (南西部ムルズク地域)

- 権益比率: 100% (オペレーター)
- 今後の作業計画
 - 2008年: 試掘井1坑(3100m)掘削 **1月中旬開坑予定**

国営石油会社から技術研修生を受入れ、関係強化を図る



海外事業現況(4) イラク石油省との技術協力

- 2005年3月に技術協力覚書を締結
- これまでの実績
 - イラク国内の油田の共同評価作業
 - 3D地震探鉱に係わる技術支援
 - 石油技術者への教育訓練
 - 原油軽質化技術及び増産手段の検討

⇒ イラク石油省から派遣された技術者は約500人
- 実施中の支援
 - 3D地震探鉱技術を利用したガラフ油田調査に対する技術支援
- 将来の油田開発に向けた入札資格審査
 - 当社は応募した120社の中から選ばれた35社の中にリストアップ(2008年4月)
 - 第1次国際競争入札説明会開催(2008年10月 ロンドン)



イラク石油省から派遣された技術者への研修(2008年7月)

海外事業現況(5) インドネシア カンゲアン鉱区

- **Kangean Energy Indonesia Ltd. (KEI) 他2社 :**
持分法適用会社

- 保有鉱区:カンゲアン鉱区
(ジャワ島東方沖)

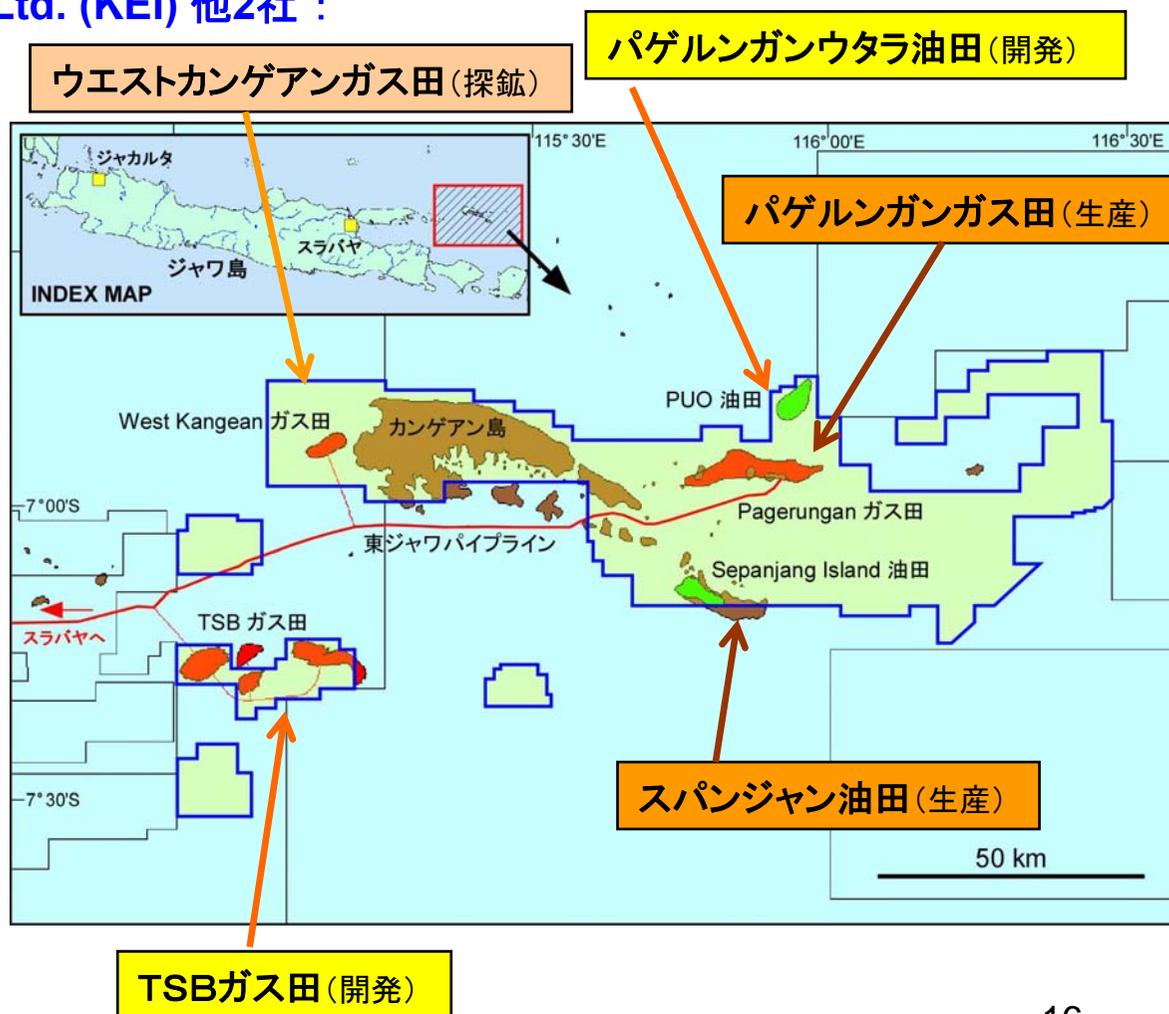
- 当社権益比率:25%

- オペレーター:KEI

- 現在の生産規模は
原油換算約 1万boe/d

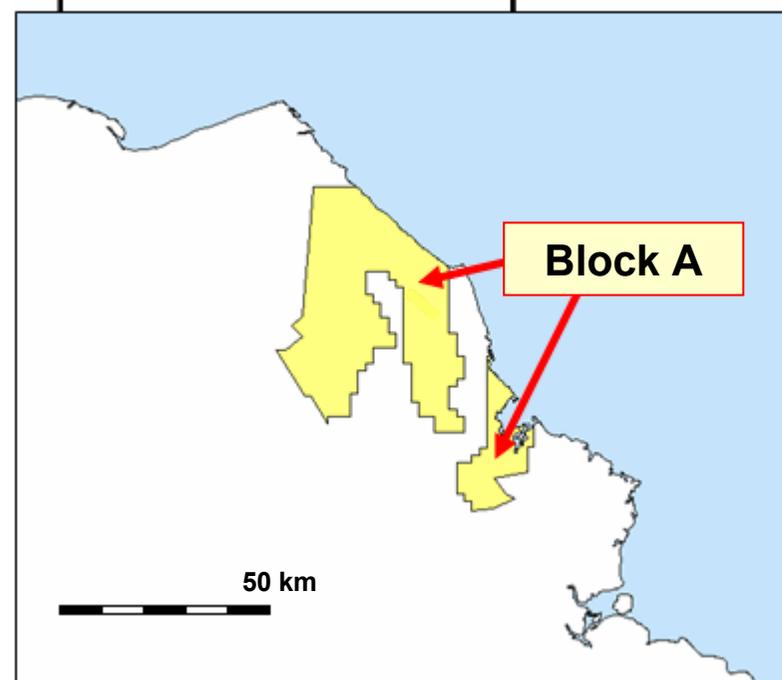
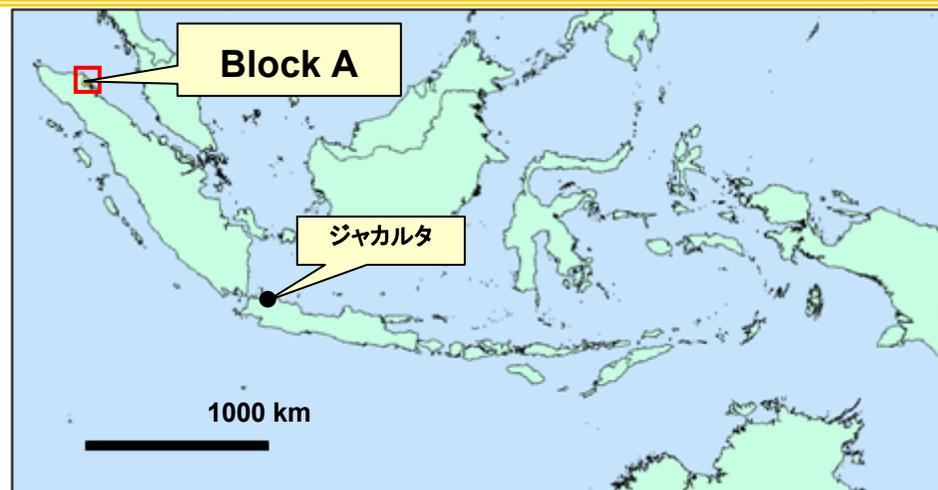
- 2010年から3億cf/dを追加生産
(TSBガス田)して、
約6万boe/d に生産量を
拡大する計画

- PS契約:2030年まで



海外事業現況(6) インドネシア A鉦区

- (株)ジャペックス **Block A** :
連結子会社(当社100%出資)
- 保有鉦区:A鉦区(スマトラ島北部)
- 権益比率:16.67%
- オペレーター:Medco社
- 2010年に3つのガス田を併せて、
約1億cf/dで生産開始する計画
(原油換算 約2万boe/d)
- PS契約:2011年まで
(延長申請中)



海外事業現況(7) インドネシア ブトン鉱区

- (株)ジャペックスブトン:
連結子会社
(当社100%出資)

- 保有鉱区:ブトン鉱区
(南東スラウェシ州
ブトン島陸・海域)

- 権益比率:40%

- オペレーター:
(株)ジャペックスブトン

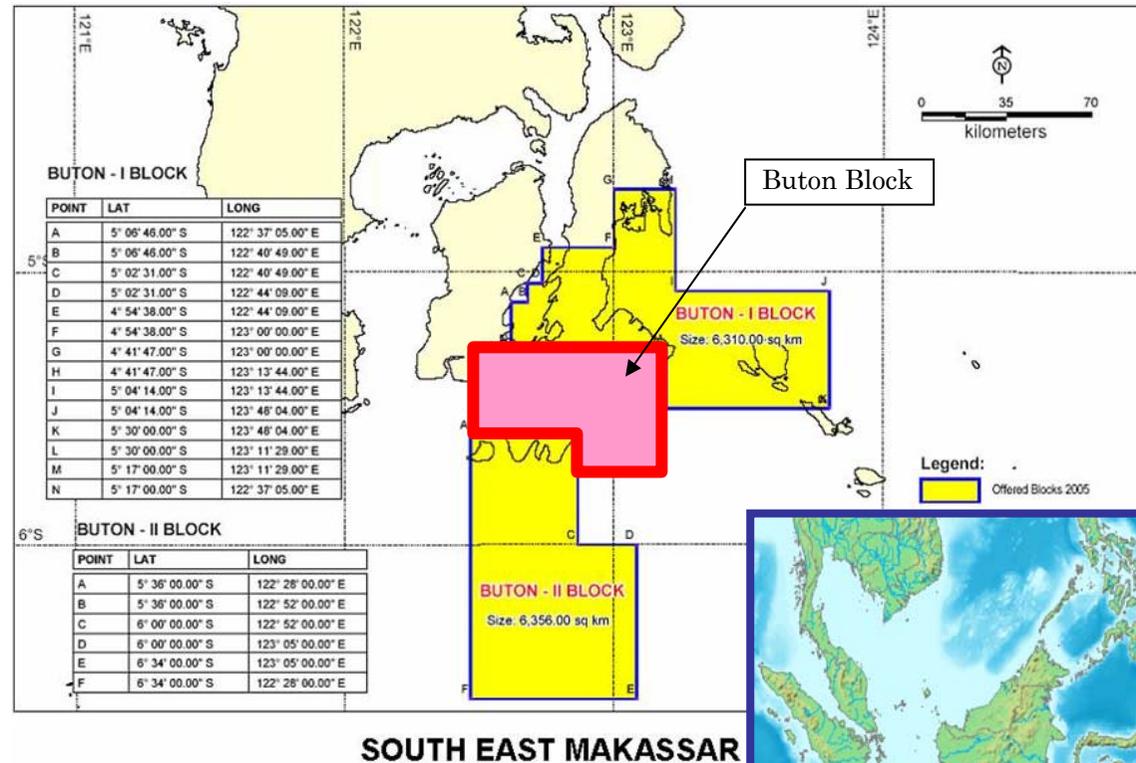
- 作業計画

2008年:

- ・空中重磁力調査 **実施済**
- ・2D地震探鉱調査 **作業中**

2009年:

- ・試掘井1坑掘削
(義務井1坑)



二酸化炭素地中貯留(CCS)技術研究開発への取り組み

日本CCS調査株の設立

設立日: 2008年5月26日

事業内容: 二酸化炭素の分離・回収、輸送、
地中貯留技術の事業化及び研究
開発諸業務

資本金: 4,350万円

株主: 29社

電力	11社
石油元売	5社
エンジニアリング	5社
石油開発	3社
鉄鋼	2社
化学	1社
商社	1社
非鉄・セメント	1社

CCS(二酸化炭素地中貯留)とは

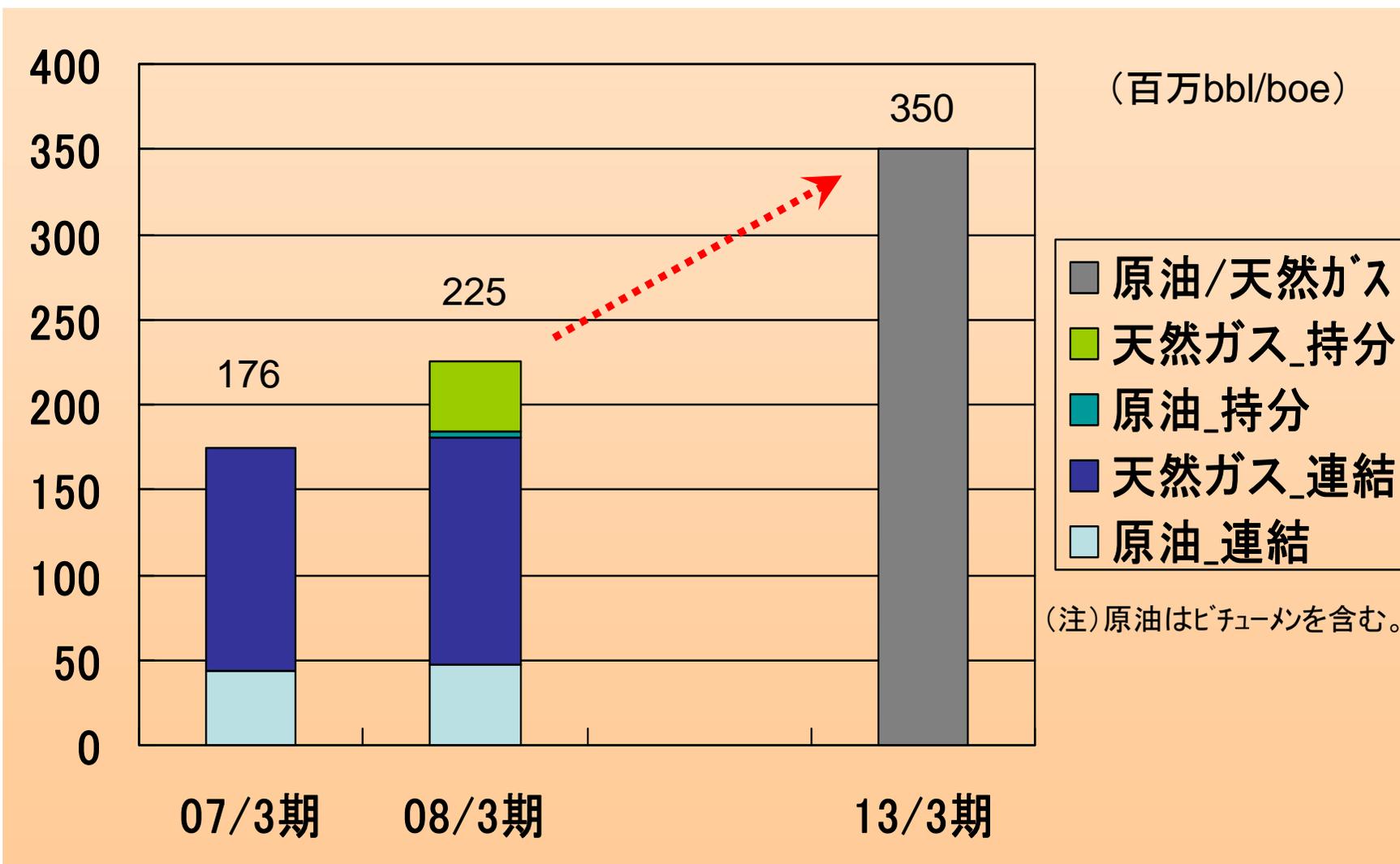
- ・Carbon-dioxide Capture and Storageの略でCO₂を分離・回収して、地下1,000m以深の地中に閉じ込める技術
- ・CO₂の大規模削減が可能であり、地球温暖化防止に最も有効

調査計画

今期は、国内のCCS大規模実証試験の実施に向けた以下の調査を実施

- ・発電からCO₂貯留に至るトータルシステムのF/S (NEDOよりの受託事業)
- ・実証実験に適する地下帯水層等に係る評価技術開発(経済産業省の研究開発補助事業)

確認埋蔵量 (2008年3月31日現在)



2009年3月期 第2四半期（中間期）実績

専務取締役 佐藤 弘

09/3月期 第2四半期(中間期)決算サマリー

(百万円)	08/3月期	09/3月期 1H		実績 11.7公表(a)
	1H 実績 (a)	当初 見通し 5.15公表(e)	前回 修正 8.8公表(e)	
売上高	91,360	86,404	113,404	110,912
営業利益	9,031	1,651	11,094	12,546
経常利益	13,825	3,540	12,597	13,321
当期純利益	9,695	2,822	8,239	9,371

[油価と為替の前提]

原油CIF価格	(\$/bbl)	65.08	80.00	115.74	115.39
為替	(Yen/\$)	119.97	105.00	104.18	105.20

09/3月期 1H		1stQ	2ndQ	1Q-2Q
当初 見通し	油価 (\$/bbl)	80.00	80.00	80.00
1Q(e) 2Q(e)	為替 (Yen/\$)	105.00	105.00	105.00
前回 修正見通し	油価 (\$/bbl)	100.94	130.00	115.74
1Q(a) 2Q(e)	為替 (Yen/\$)	103.08	105.00	104.18
実績	油価 (\$/bbl)	100.94	129.82	115.39
1Q(a) 2Q(a)	為替 (Yen/\$)	103.08	106.84	105.20

09/3月期 1H 原油販売実績(前期比)

		07/3月期 1H 実績(a)	08/3月期 1H 実績(a)	09/3月期 1H 実績(a)	増減 前年同期比
原油販売量	(千kl)	930	1,227	1,028	▲199
原油売上高	(百万円)	37,226	59,177	73,668	+14,490
原油CIF価格	(\$/bbl)	65.82	65.08	115.39	+50.31
為替	(Yen/\$)	115.42	119.97	105.20	▲14.77

[権益原油の内訳]

国産原油販売量	(千kl)	258	253	255	+2
売上高	(百万円)	12,494	12,805	19,709	+6,904
海外子会社原油販売量	(千kl)	96	83	76	▲6
売上高	(百万円)	4,806	3,806	5,527	+1,721
ビチューメン販売量	(千kl)	229	195	205	+10
売上高	(百万円)	4,410	4,851	9,500	+4,649

本資料における「国産原油」の販売量及び売上高は、買入原油を除いております。また、「海外子会社原油」の販売量及び売上高は、海外連結子会社2社(新南海石油開発株)、Japex (U.S) Corp)の合計数値を記載しています。

【第2四半期(中間期)実績】



09/3月期 1H 天然ガス販売実績(前期比)

	07/3月期 1H 実績(a)	08/3月期 1H 実績(a)	09/3月期 1H 実績(a)	増減 前年同期比
天然ガス販売量 (百万m3)	614	631	647	+15
売上高 (百万円)	18,893	20,102	22,906	+2,803
国産ガス販売量 (百万m3)	491	487	481	▲5
売上高 (百万円)	15,389	15,646	17,107	+1,460

本資料における「国産ガス」の販売量及び売上高は、買入ガスを除く数値を記載しています。

09/3月期 1H 損益変動要因(前期比)

(百万円)	08/3月期 1H 実績(a)	09/3月期 1H 実績(a)	増減 前年同期比
売上高	91,360	110,912	+19,551
売上総利益	28,379	38,704	+10,324
探鉱費	5,176	10,106	+4,929
販管費	14,171	16,051	+1,879
営業利益	9,031	12,546	+3,514
営業外損益	4,793	774	▲4,018
経常利益	13,825	13,321	▲504
特別損益	▲585	▲65	+519
法人税等	3,108	3,351	+242
少数株主利益	434	532	+97
当期純利益	9,695	9,371	▲324

売上総利益
国内原油天然ガス +35億円
海外連結子会社 +63億円
(JACOS +40 新南海 +21 JUS +1)

探鉱費
国内 ▲40億円 海外 ▲9億円

販管費
石油特別収益金 ▲8億円

営業外損益
有価証券評価損 ▲9億円
為替差損益 ▲8億円
受取配当金 ▲8億円
海投損引当取崩減 ▲7億円

特別損益
中越沖地震 震災復旧費 +6億円

増減要因の説明は、増益要因を +、
減益要因を ▲ で記載。

2009年3月期 - 通期業績見通し修正

専務取締役 佐藤 弘

通期 業績見直し修正サマリー

(百万円)	08/3月期 通期 実績 (a)	09/3月期 通期 見直し		
		当初 見直し 5.15公表(e)	前回 修正 8.8公表(e)	今回 修正 11.7公表(e)
売上高	207,638	193,772	258,054	219,828
営業利益	19,625	8,860	27,339	21,836
経常利益	27,247	14,321	35,352	26,539
当期純利益	20,097	11,141	26,383	19,828

[油価と為替の前提]

原油CIF価格 (\$/bbl)	76.21	80.00	112.51	88.62
為替 (Yen/\$)	114.66	105.00	104.63	100.69

			1Q-2Q	3rdQ (e)	4thQ (e)	通期 (e)
当初 見直し	油価 (\$/bbl)		80.00	80.00	80.00	80.00
1Q(e) 2Q(e)	為替 (Yen/\$)		105.00	105.00	105.00	105.00
前回 修正見直し	油価 (\$/bbl)		115.74	110.00	110.00	112.51
1Q(a) 2Q(e)	為替 (Yen/\$)		104.18	105.00	105.00	104.63
今回 修正見直し	油価 (\$/bbl)		115.39	85.00	55.00	88.62
1Q(a) 2Q(a)	為替 (Yen/\$)		105.20	95.00	95.00	100.69

通期 原油販売 修正見直し(前期比)

		08/3月期 通期実績 (a)	09/3月期 今回修正 見直し		増減 前年同期 比較	
			1H (a)	2H (e)	通期 11.7公表(e)	
原油販売量	(千kl)	2,450	1,028	1,350	2,378	▲72
原油売上高	(百万円)	128,391	73,668	55,359	129,027	+636
原油CIF価格	(\$/bbl)	76.21	115.39	68.56	88.62	+12.41
為替	(Yen/\$)	114.66	105.20	95.00	100.69	▲13.97
[権益原油の内訳]						
国産原油販売量	(千kl)	574	255	340	595	+21
売上高	(百万円)	32,170	19,709	13,274	32,983	+813
海外子会社原油販売量	(千kl)	144	76	68	144	+0
売上高	(百万円)	7,483	5,527	3,823	9,350	+1,867
ビチューメン販売量	(千kl)	409	205	214	419	+10
売上高	(百万円)	10,468	9,500	5,827	15,327	+4,859

本資料における「国産原油」の販売量及び売上高は、買入原油を除いております。また、「海外子会社原油」の販売量及び売上高は、海外連結子会社2社(新南海石油開発(株)、Japex (U.S) Corp)の合計数値を記載しています。

【通期見直し修正】



通期 天然ガス販売 修正見直し(前期比)

	08/3月期 通期実績 (a)	09/3月期 今回修正 見直し		増減 前年同期 比較	
		1H (a)	2H (e)	通期 11.7公表(e)	
天然ガス販売量 (百万m3)	1,486	647	915	1,562	+76
売上高 (百万円)	48,982	22,906	34,511	57,417	+8,435
国産ガス販売量 (百万m3)	1,124	481	692	1,173	+49
売上高 (百万円)	37,121	17,107	25,656	42,763	+5,642

本資料における「国産ガス」の販売量及び売上高は、買入ガスを除く数値を記載しています。

通期 損益変動要因(前期比)

(百万円)	08/3月期 通期 実績 (a)	09/3月期 通期 見直し (e)	増減 前年同期 比較
売上高	207,638	219,828	+12,190
売上総利益	63,955	72,800	+8,845
探鉱費	13,559	17,962	+4,403
販管費	30,770	33,002	+2,232
営業利益	19,625	21,836	+2,211
営業外損益	7,621	4,703	▲2,918
経常利益	27,247	26,539	▲708
特別損益	▲942	186	+1,128
法人税等	5,426	5,531	+105
少数株主利益	780	1,366	+586
当期純利益	20,097	19,828	▲269

売上総利益
海外連結子会社 +84億円
(JACOS +57 新南海 +27)

探鉱費
国内探鉱費 ▲45億円

販管費
石油特別収益金 ▲9億円

営業外損益
持分法投資利益 ▲15億円
海投損引当取崩 ▲14億円

特別損益
中越沖地震 震災復旧費 +7億円

増減要因の説明は、増益要因を +、
減益要因を ▲ で記載。

通期 原油販売 修正見直し(8.8公表比)

	09/3月期 通期 見直し 8.8公表 (e)	09/3月期 今回修正 見直し		通期 11.7公表 (e)	増減 8.8公表(e) 比較
		1H (a)	2H (e)		
原油販売量 (千kl)	2,257	1,028	1,350	2,378	+121
原油売上高 (百万円)	165,273	73,668	55,359	129,027	▲36,246
原油CIF価格 (\$/bbl)	112.51	115.39	68.56	88.62	▲23.89
為替 (Yen/\$)	104.63	105.20	95.00	100.69	▲3.94
[権益原油の内訳]					
国産原油販売量 (千kl)	591	255	340	595	+4
売上高 (百万円)	44,165	19,709	13,274	32,983	▲11,182
海外子会社原油販売量 (千kl)	145	76	68	144	▲1
売上高 (百万円)	11,117	5,527	3,823	9,350	▲1,767
ビチューメン販売量 (千kl)	420	205	214	419	▲1
売上高 (百万円)	21,308	9,500	5,827	15,327	▲5,981

本資料における「国産原油」の販売量及び売上高は、買入原油を除いております。また、「海外子会社原油」の販売量及び売上高は、海外連結子会社2社(新南海石油開発株、Japex (U.S) Corp)の合計数値を記載しています。

【通期見直し修正】



通期 天然ガス販売 修正見直し(8.8公表比)

	09/3月期 通期 見直し 8.8公表 (e)	09/3月期 今回修正 見直し			増減 8.8公表(e) 比較
		1H (a)	2H (e)	通期 11.7公表 (e)	
天然ガス販売量 (百万m3)	1,571	647	915	1,562	▲10
売上高 (百万円)	57,999	22,906	34,511	57,417	▲582
国産ガス販売量 (百万m3)	1,172	481	692	1,173	+2
売上高 (百万円)	42,999	17,107	25,656	42,763	▲237

本資料における「国産ガス」の販売量及び売上高は、買入ガスを除く数値を記載しています。

通期 損益変動要因(8.8公表比)

(百万円)	09/3月期 通期見直し 8.8公表 (e)	09/3月期 通期見直し 11.7公表 (e)	増減 8.8公表(e) 比較
売上高	258,054	219,828	▲38,226
売上総利益	82,807	72,800	▲10,008
探鉱費	21,896	17,962	▲3,934
販管費	33,572	33,002	▲571
営業利益	27,339	21,836	▲5,503
営業外損益	8,013	4,703	▲3,310
経常利益	35,352	26,539	▲8,813
特別損益	▲201	186	+387
法人税等	6,678	5,531	▲1,147
少数株主利益	2,090	1,366	▲724
当期純利益	26,383	19,828	▲6,555

売上総利益
国内原油天然ガス他 ▲43億円
海外連結子会社 ▲57億円
(JACOS ▲39
新南海 ▲15 JUS ▲3)

探鉱費
国内 +12億円 海外 +28億円

販管費
石油特別収益金 +6億円

営業外損益
受取配当金 ▲10億円
有価証券評価損 ▲10億円
為替差損益 ▲10億円

増減要因の説明は、増益要因を +、
減益要因を ▲ で記載。

油価・為替の前提 及び 収益への影響

	08/3月期	09/3月期 今回 修正見直し			通期 (e)
	通期 (a)	1H (a)	3rdQ (e)	4thQ (e)	
原油CIF価格 (\$/bbl)	76.21	115.39	85.00	55.00	88.62
為替 (Yen/\$)	114.66	105.20	95.00	95.00	100.69

原油価格前提 = 85 USD/bbl(3rdQ)、55 USD/bbl(4thQ)

1\$/bbl の 油価上昇による
利益増加額は ……

営業利益	220 百万円
経常利益	220 百万円
当期純利益	140 百万円

注

ビチューメンの販売価格は通常の原油価格とは異なる動きを示すことが多いため、オイルサンド事業に関する油価変動の影響は、ここに示した数値には含まれていません。

為替前提 = 95 円/USD

5 円/\$ の円安による
利益増加額は ……

営業利益	350 百万円
経常利益	350 百万円
当期純利益	210 百万円

注

為替変動の影響に関して、左記に示したものの以外に、当社及び連結子会社の保有する外貨建金銭債権債務(ヘッジ会計適用分を除く)の為替レート換算差額が発生します(評価差額を営業外損益に計上)。

(注) 上記は参考値であり、実際の利益は原油価格や為替以外の様々な要因によっても影響されます。